

2013 年漁業センサス調査結果の概要

【調査結果の概要】

①漁業経営体数

平成 25 年 11 月 1 日現在における、網走市の海面漁業の漁業経営体数は 76 経営体で、前回（平成 20 年調査。以下同じ。）に比べ 10 経営体（11.6%）減少しました。

②漁業就業者数

漁業就業者数は 441 人で、前回に比べ 28 人（6.0%）減少しました。

③漁船隻数

漁業経営体が過去 1 年間に漁業生産に使用し、調査期日現在保有している漁船の総隻数は 179 隻で、前回に比べ 14 隻（7.3%）減少しました。

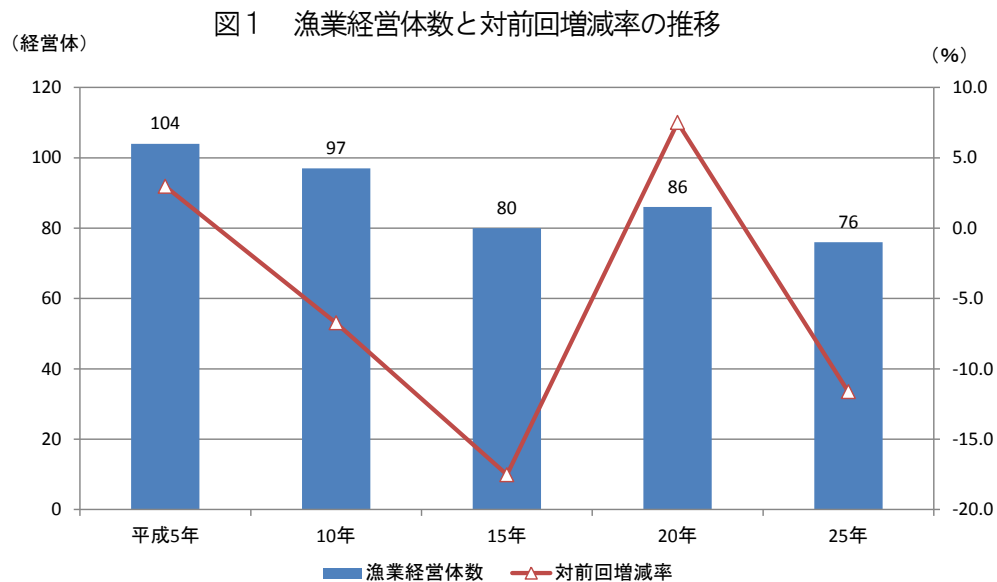
			平成15年	平成20年	平成25年	前回比	北海道 シェア
①	漁業経営体数 (単位:経営体)	網走市	80	86	76	△11.6%	0.6%
		北海道	16,500	14,780	12,882	△12.8%	
		全国	132,417	115,196	94,507	△18.0%	
②	漁業就業者数 (単位:人)	網走市	356	469	441	△6.0%	1.5%
		北海道	28,890	33,568	29,652	△11.7%	
		全国	238,371	221,908	180,985	△18.4%	
③	漁船隻数 (単位:隻)	網走市	150	193	179	△7.3%	0.8%
		北海道	28,297	25,235	22,494	△10.9%	
		全国	213,808	185,465	152,998	△17.5%	

【調査結果】

1.漁業経営体数

(1) 総経営対数

平成 25 年 11 月 1 日現在の網走市の漁業経営体数は 76 経営体で、前回に比べ、10 経営体（11.6%）減少しました。＜図 1＞



(2) 漁業層別経営体数

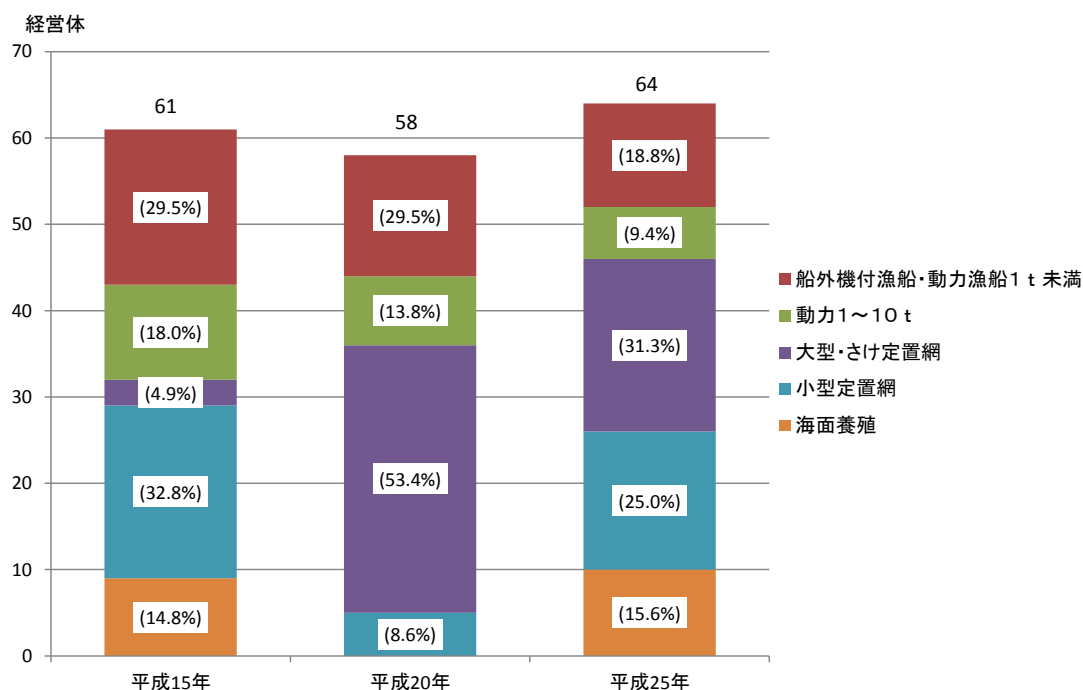
漁業経営体数を漁業層（主とする漁業種類と使用漁船の規模による区分）別にみると、沿岸漁業層（漁船非使用、無動力漁船、船外機付漁船、動力漁船10トン未満、定置網、海面養殖の各経営体層）は前回に比べ6経営体（10.3%）の増、中小漁業層（動力漁船10～1,000トン未満の経営体層）は16経営体（57.1%）の減となりました。

沿岸漁業層の経営体数は、64経営体と全体の84.2%を占めています。＜表1、図2＞

表1 漁業層別経営体数

漁業層別	平成15年	平成20年	平成25年	構成比		対 H20	
				H20	H25	増減数	増減率
漁業経営体数	80	86	76	100.0%	100.0%	△ 10	△11.6%
沿岸漁業層	61	58	64	67.4%	84.2%	6	10.3%
漁船非使用	0	0	0	0.0%	0.0%	0	－
無動力漁船	0	0	0	0.0%	0.0%	0	－
船外機付漁船	－	13	11	15.1%	14.5%	△ 2	△15.4%
動力漁船1t未満	18	1	1	1.2%	1.3%	0	0.0%
1～3	0	1	0	1.2%	0.0%	△ 1	△100.0%
3～5	11	6	6	7.0%	7.9%	0	0.0%
5～10t	0	1	0	1.2%	0.0%	△ 1	△100.0%
大型・さけ定置網	3	31	20	36.0%	26.3%	△ 11	△35.5%
小型定置網	20	5	16	5.8%	21.1%	11	220.0%
海面養殖	9	0	10	0.0%	13.2%	10	－
中小漁業層	19	28	12	32.6%	15.8%	△ 16	△57.1%
動力漁船10～20t	12	19	6	22.1%	7.9%	△ 13	△68.4%
20～30	0	0	0	0.0%	0.0%	0	－
30～50	1	2	2	2.3%	2.6%	0	0.0%
50～100	2	3	0	3.5%	0.0%	△ 3	△100.0%
100～200	2	4	4	4.7%	5.3%	0	0.0%
200～500	1	0	0	0.0%	0.0%	0	－
500～1000t	1	0	0	0.0%	0.0%	0	－
大規模漁業層	0	0	0	0.0%	0.0%	0	－

図2 沿岸漁業層経営体数の推移



(3) 主とする漁業種類別経営体数

主とする漁業種類（販売金額第1位の漁業種類）別の経営体数をみると、定置網が36経営体と全体の47.4%を占めており、次いで、その他の漁業・海面養殖がそれぞれ10経営体で13.2%、以下、底びき網・刺網がそれぞれ8経営体で10.5%となりました。＜表2＞

表2 主とする漁業種類別経営体数

	(単位:経営体)						
	平成15年	平成20年	平成25年	構成比		対 H20	
				H20	H25	増減数	増減率
漁業経営体数	80	86	76	100.0%	100.0%	△ 10	△11.6%
底びき網	13	10	8	11.6%	10.5%	△ 2	△20.0%
沖合底びき網	2	3	3	3.5%	3.9%	0	0.0%
小型底びき網	11	7	5	8.1%	6.6%	△ 2	△28.6%
船びき網	-	4	-	4.7%	-	-	-
刺網	7	11	8	12.8%	10.5%	△ 3	△27.3%
さけ・ます流し網	-	-	1	-	1.3%	-	-
その他の刺網	7	11	7	12.8%	9.2%	△ 4	△36.4%
定置網	23	36	36	41.9%	47.4%	0	0.0%
大型定置網	-	-	-	-	-	-	-
さけ定置網	3	31	20	36.0%	26.3%	△ 11	△35.5%
小型定置網	20	5	16	5.8%	21.1%	11	220.0%
はえ縄	4	5	1	5.8%	1.3%	△ 4	△80.0%
採貝・採藻	2	2	3	2.3%	3.9%	1	50.0%
その他の漁業	22	18	10	20.9%	13.2%	△ 8	△44.4%
海面養殖	9	0	10	0.0%	13.2%	10	-
ほたてがい養殖	9	-	10	-	13.2%	-	-

(4) 経営組織別経営体数

漁業経営体数を経営組織別にみると、個人経営体が約8割を占めましたが、前回に比べ10経営体（14.5%）減少し、59経営体となりました。

団体経営体は、前回と比べ増減なしの17経営体となりました。＜表3＞

表3 経営組織別経営体数

経営組織別	(単位:経営体)						
	平成15年	平成20年	平成25年	構成比		対 H20	
				H20	H25	増減数	増減率
漁業経営体数	80	86	76	100.0%	100.0%	△ 10	△11.6%
個人経営体数	62	69	59	80.2%	77.6%	△ 10	△14.5%
団体経営体数	18	17	17	19.8%	22.4%	0	-
会社	3	4	4	4.7%	5.3%	0	-
漁業協同組合	-	-	-	-	-	-	-
漁業生産組合	-	-	-	-	-	-	-
共同経営	15	13	13	15.1%	17.1%	0	0.0%
その他	-	-	-	-	-	-	-

(5) 個人漁業経営体

ア 専兼業別経営体数

総経営対数の約8割を占める個人経営体について専兼業別にみると、専業は16経営体で、前回に比べ2経営体(11.1%)減少しました。

兼業は43経営体で、前回に比べ8経営体(15.7%)減少しました。＜表4＞

※個人経営体の専兼業分類

①専業

個人経営体(世帯)として、過去1年間の収入が自営漁業のみからあった場合をいいます。

②第1種兼業

個人経営体(世帯)として、過去1年間の収入が自営漁業以外の仕事からもあり、かつ、自営漁業からの収入がそれ以外の仕事からの収入の合計よりも大きかった場合をいいます。

③第2種兼業

個人経営体(世帯)として、過去1年間の収入が自営漁業以外の仕事からもあり、かつ、自営漁業以外の仕事からの収入の合計が自営漁業からの収入よりも大きかった場合をいいます。

表4 個人専業別経営体数

(単位:経営体)

区 分	平成5年	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年
専 業	11	1	1	18	16
第1種兼業	45	41	56	51	40
第2種兼業	9	24	5	—	3

イ 後継者の有無別個人経営体数

個人経営体のうち、後継者のいる経営体は18経営体で、前回に比べ4経営体(18.2%)減少し、全個人経営体に占める割合は30.5%となりました。＜表5＞

表5 後継者の有無別個人経営体数

(単位:経営体)

区分							(単位:経営体)	
	平成20年	うち、後継者あり		平成25年	うち、後継者あり		後継者あり経営体 対 H20	
		経営体数	割合		経営体数	割合	増減数	増減率
個 人 経 営 体 数	69	22	31.9%	59	18	30.5%	△ 4	△18.2%

2.漁業就業者

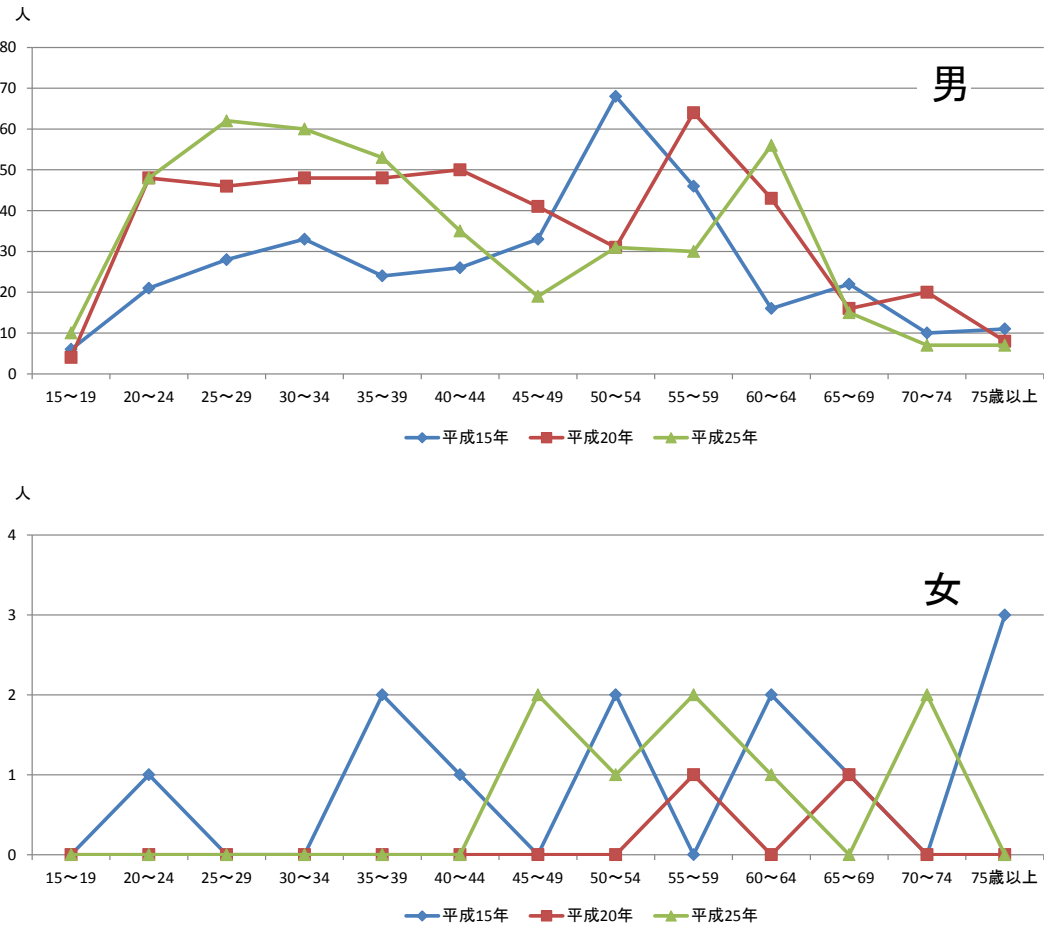
漁業就業者数（漁業の海上作業に30日以上従事した人）は441人で、前回に比べ28人（6.0%）減少しました。

自営漁業のみは38人で、前回に比べ5人（15.2%）増加し、漁業雇われは403人で、前回に比べ33人（7.6%）減少しました。

また、男女別にみると、男性は433人（構成比98.2%）、女性は8人（同1.8%）となりました。
＜表6、図3＞

表6 漁業就業者数 (単位:人)							
区分	平成15年	平成20年	平成25年	構成比		対 H20	
				H20	H25	増減数	増減率
漁業就業者数	356	469	441	100.0%	100.0%	△ 28	△6.0%
自営漁業のみ	27	33	38	7.0%	8.6%	5	15.2%
自営と雇われ	71	-	-	-	-	-	-
自営が主	53	-	-	-	-	-	-
雇われが主	18	-	-	-	-	-	-
雇われのみ	258	-	-	-	-	-	-
漁業雇われ	-	436	403	93.0%	91.4%	△ 33	△7.6%
男	344	467	433	99.6%	98.2%	△ 34	△7.3%
15～29歳	55	98	120	20.9%	27.2%	22	22.4%
30～59歳	230	282	228	60.1%	51.7%	△ 54	△19.1%
60～64歳	16	43	56	9.2%	12.7%	13	30.2%
65歳以上	43	44	29	9.4%	6.6%	△ 15	△34.1%
女	12	2	8	0.4%	1.8%	6	300.0%

図3 男女別・年齢別漁業就業者数



3.漁 船

海面漁業経営体が過去1年間に使用し、調査日現在保有している漁船の総隻数は179隻で、前回に比べ14隻(7.3%)減少しました。

漁船隻数を種類別にみると、船外機付漁船が105隻(構成比58.7%)と最も多く、動力漁船は73隻(同40.8%)となりました。

また、動力漁船のうち、10～20トンのみ4隻増加し、全体に占める構成比も25.7%となりました。

<表7>

表7 漁船種類・規模別漁船隻数

区分	(単位:隻)						
	平成15年	平成20年	平成25年	構成比		対 H20	
				H20	H25	増減数	増減率
漁 船 隻 数	150	193	179	100.0%	100.0%	△ 14	△ 7.3%
無 動 力 漁 船	2	3	1	1.6%	0.6%	△ 2	△ 66.7%
船 外 機 付 漁 船	86	113	105	58.5%	58.7%	△ 8	△ 7.1%
動 力 漁 船	62	77	73	39.9%	40.8%	△ 4	△ 5.2%
5 t 未 満	15	23	20	11.9%	11.2%	△ 3	△ 13.0%
5 ～ 10	－	2	2	1.0%	1.1%	0	0.0%
10 ～ 20	39	42	46	21.8%	25.7%	4	9.5%
20 ～ 100	4	7	2	3.6%	1.1%	△ 5	△ 71.4%
100 ～ 200	3	3	3	1.6%	1.7%	0	0.0%
200t 以 上	1	－	－	－	－	－	－